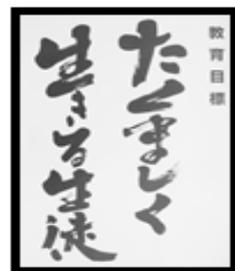




令和7年
1月17日発行

第6号
(担当 本図)



一人一人が光り輝く希望の年に

東新潟中学校 渡邊 昌彦

新年あけましておめでとうございます。2025年、令和7年が始まりました。今年こそは、穏やかで平和な1年になることを願ってやみません。また、震災や自然災害からの復興に、今もご尽力されているすべての皆様にお見舞い申し上げます。

さて、今年の干支（えと）は、蛇（へび）になっています。蛇（へび）と言えば、毒をもつ動物の代表として恐れられています。一方で、その毒の研究から治療薬が開発されるなど、害をもたらすだけではありません。また、感染症禍で注目を浴びたWHO（世界保健機関）のシンボルマーク（右図）には、杖に巻き付いた蛇が描かれています。これはギリシア神話の中に出てくる「医療の神」が持っていた杖に由来していて、そもそも、蛇は成長の過程で、脱皮を繰り返して体を新しく成長させていくことから、「再生や蘇生」の象徴として崇められてきたようです。



ちなみに、なぜ蛇は脱皮するのかというと、体を成長させるため、体の傷を治すため、健康維持をするために行うそうです。脱皮を始めるときは眼を覆うウロコが白濁し、視界が不透明になり、眼も含めてすべての表皮が新しく生まれ変わります。

そのような蛇の特徴もあり、蛇年は「新しいスタートを切る」にはよい年になると言われています。昨年、メジャーリーグで大活躍した大谷翔平選手が、高校時代に自らの人生設計を描いて（マンガラチャート 右下図）、それに向けて日々努力してきたことは有名です。世界中が注目するような活躍は難しいとは思いますが、自分の将来に夢や目標を掲げて挑戦していくことは誰でも可能だと思います。ぜひ、2025年のスタートにあたり、一人一人の皆さんが、それぞれの将来の夢や希望を掲げて新たなスタートを切りましょう。そして、1年後には一皮も二皮も剥けた成長した皆さんの姿に期待したいと思います。



また、学校は年度で区切られていますので、新年あけて今年度末は、あと3月余りです。3月7日が卒業証書授与式で、その間には3年生の進路を決める高校入試もあります。一日一日がとても思い出深い時間になると思います。卒業式当日に向けて様々な取組を進め、令和6年度の東新潟中学校の有終の美を飾りたいものです。そして、2025年を希望の年にしていきたいと思います。（一部、冬休み明けの講話です。）

生徒会活動の引継ぎが始まりました

新生徒会の拓く未来へ

生徒会役員選挙で選ばれた新役員の任命式が12月17日（火）に行われ、次年度に向けた新たなスタートが切られました。現在は、ともにこの東新潟中学校をより良くしていくための仲間探しをしている段階です。

彼らの、新専門委員長・書記局員の選出に責任の重さを感じながら、同じ志をもつ仲間を真剣に見つけようとする姿に、東新潟中学校の輝かしい未来が見えました。これまでの生徒会の皆さんが積み上げてきたものを受け継ぎ、東新潟中学校のため、全校生徒のため、地域のために尽力してほしいと思います。



← 新年を迎えるにあたり、切り絵を教えてくださいと、地域ボランティアの先生から作品をいただきました。

いつも玄関前に、→ 生徒が季節感あふれるカレンダーを飾ってくれています。



制服見直しに向けた学習会について



10月学習会風景

東新潟中学校では現在、生徒会を中心に制服の見直しについて検討を進めています。この度、1月23日（木）16:15～昨年10月とは別の業者からも制服についての学習会を行っていただくこととなりました。つきましては、1、2年生の保護者にメールで案内をお送りします。ふるってご参加ください。